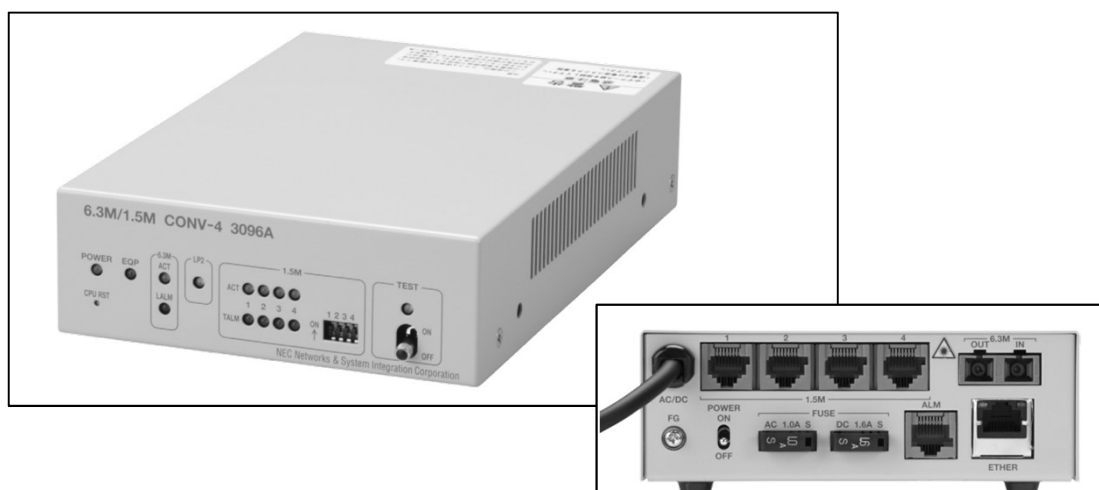


6.3M / 1.5M CONV-4 (3096A)

概要

6.3M / 1.5M CONV-4 (3096A) は、1.5M 電気インタフェース (I .431-a) 4 回線を多重して 6.3M 光インタフェースに変換する装置です。本装置は SNMP により、装置警報等を監視制御装置 (SNMP マネージャ) にて遠隔地から監視することが可能です。また、Web ブラウザから各警報情報や設定情報を参照することも可能です。

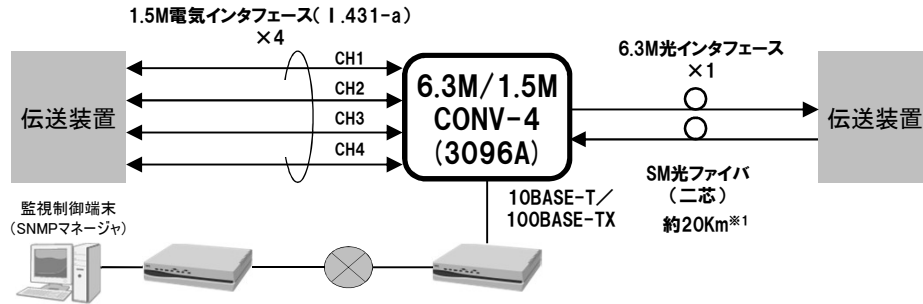
外観



特長

- 装置のクロックは、6.3M 光インタフェース側からの従属またはクロック自走のいずれかを選択することが可能です。
- 6.3M 光インタフェース側からの制御による LOOP2 試験 (1.5M 単位) が可能です。
- 装置前面のスイッチ操作によってローカルループ試験 (6.3M 光インタフェース側、1.5M 電気インタフェース側双方向折り返し) が可能です。
- 装置故障や、回線インタフェースアラーム等が発生した場合、警報ランプの点灯と警報を出力します。
- 監視制御装置 (SNMP マネージャ) を使用して、遠隔地から警報の有無および状態を監視することが可能です。
- Web ブラウザから各種警報情報や設定情報を参照することが可能です。
- Web ブラウザから装置リセットまたは、1.5M 単位での CH リセットが可能です。
- 交流 / 直流両タイプの電源に対応しているので、設置場所を選びません。
- オプションで背面保護カバー (3045A) があります。

使用例



主な仕様

【ハードウェア仕様】

項 目		仕 様	
6.3M光 インタフェース	伝送路	シングルモード光ファイバケーブル	
	符号形式	CMI ^{※2}	
	光波長	1.27 μm ~ 1.335 μm	
	光出力パワー	-19dBm ~ -10dBm	
	最大受光レベル	-11.0dBm	符号誤り率Pe Pe = 1 × 10 ⁻⁸
	最小受光レベル	-36.8dBm	
	速度	6.312Mbps	
	物理インタフェース	SC型光コネクタ	
1.5M電気 インタフェース	回線数	1回線	
	インタフェース	1次群ユーザ網インタフェース(TTC JT-I 431-a準拠)	
	物理インタフェース	ISO IS10173(RJ-48C)溝付き8ピンモジュロコネクタ	
監視 インタフェース	回線数	4回線	
	接続インタフェース	10BASE-T/100BASE-TX(オートネゴシエーション) (IEEE802.3(10M)およびIEEE802.3u(100M)準拠)	
	プロトコル	SNMPV1(RFC1157準拠) IPv4	
	監視数	11項目(EQP/LALM/TALM1~4/6.3M ACT NG/LOOP2#1~#4)	
警報出力 インタフェース	物理インタフェース	ISO8877(RJ-45)8ピンモジュロコネクタ(MDI)	
	電気インタフェース	無電圧ループ接点または地気接点 1接点	
	物理インタフェース	ISO8877(RJ-45)8ピンモジュロコネクタ	
使用電源	AC100V±10% または DC-48V±5%V		
消費電力	約15W		
質 量	約2kg		
寸 法	140(W)mm × 52(H)mm × 210(D)mm(但し、突起物は除く)		
環境条件	温度0~40°C/湿度30~85%(但し、結露しないこと)		

【ソフトウェア仕様】

項 目		仕 様	
監視		監視項目の状態変化を検知してSNMPトラップを送信	
SNMPエージェント 機能	MIB	インターネット標準MIBsystemグループ(RFC1213 MIB-II 準拠) 企業拡張MIB 16066	
	SNMPトラップ送信先	最大4ヶ所を設定	
	認証	コミュニティ名によるアクセス制限	
HTTPサーバ機能	GUI	IPアドレス、SNMPトラップ送信先等の設定および読み出し 装置の設定情報および監視項目の読み出し ※ブラウザにInternet Explorerを推奨	
	認証	ユーザ名/パスワード設定によるアクセス制限	

※1: 伝送距離は、光ファイバロスを0.5dB/km(スプライロス含む)と仮定した場合の計算値です。

※2: CMI符号は、論理値“0”の場合は“LH”、論理値“1”の場合は“HH”と“LL”を交互に反転する変換法則となります。

主な導入先

通信事業者